

式 辞

平成二十九年度畿央大学卒業証書・学位記・修了証書授与式において、それぞれの証書を授与される卒業生、修了生の皆さん、誠におめでとうございます。

ご来賓の皆様のご臨席を賜り、学部長、学科長、事務局長をはじめとする教職員一同とともに、卒業証書・学位記・修了証書授与式を挙行し、皆さんの門出をお祝いできることは、畿央大学としても大きな喜びとするところであります。

さらに、この日を迎えるにあたり、これまで長きにわたり卒業生・修了生の皆さんを見守り、励まし支援されてこられたご家族および関係者の皆様方にもお慶びとお祝いを申し上げます。

さて、卒業される皆さん、本学に入学されたころのことを思い出してください。学部に入學された皆さんは、長かった受験勉強を終え、将来への夢と大学への期待といくばくかの不安をもって入学されたことと思います。大学院ならびに専攻科に入學された皆さんも同様に、人生の次のステップへの夢と期待をもって入学されたことと思います。そのころに持っておられた将来への夢は、その実現に向けて具体的になり、今日はその道に歩み出す出発の日を迎えられました。

在学期間中に夢の実現への道筋をつけることができたのは、これまでの皆さんの努力と研鑽によることは勿論ですが、先生方のご指導と職員の方々のご支援、そして切磋琢磨した学友の皆さんがいて、初めて達成できたことであることを深く心に刻んでいただきたいと思います。そして、これからの人生において、お一人おひとりの夢の実現に向かって歩み続けていただきたいと思います。

卒業される皆さんは、夢の実現への道筋をつけるために、畿央大学において、それぞれの分野の専門知識と技術を学び、幅広い教養を身につけてこられました。

そのような皆さんに、知識や技術を「学ぶ」ということについて、意識しておいていただきたいことがあります。

一つ目は、知識・技術を体系として捉える視点を持っていただきたいということです。とくに専門分野の知識は、個々の事象や部分に関することをまず理解することが必要です。さらに、個々の知識が互いにどのように関係しているのかを知ることも必要です。それらがどのように関係しているかが分かると、その分野の専門知識を体系的に理解することができます。体系的に把握できるようになると、足りない部分やさらに追加していく先が見えてきます。他の人には、理解していることを説明できるようになります。

知識や技術の個々の要素は、それを現場でどのように使うのか、問題の解決にどのように適用するのか、ということに結び付けると、より実践的な知識、確かな技術となります。

大学で学んだ専門知識・技術を単なる寄せ集めではなく、相互に関連する知識・技術の体系としてとらえる視点を常に意識していただきたいと思います。

二つ目は、知識・技術を「学ぶ」姿勢について、「分かる」ということを意識して欲しいということです。知識や技術は、人類の文化の歴史の中で先人たちが見出し、形にしてきたことです。知識・技術を学ぶ際に、なぜそうなのかと考え、理解し身につけることが必要です。それには、この知識や技術は、「何なのか」という疑問を常に持ち、深く考え続けることが重要です。それが、自分自身で「分かる」ということにつながります。

現場での実習や地域連携の活動では、他の人と協力して問題解決に取り組むこととなります。その際、議論やコミュニケーションのなかで、「気づき」をきっかけとして、例えば人間関係の中での自分自身の役割が「分かる」こともあります。いずれにしても問題意識を持ち続けることが必要です。

体系的な理解の追求と、疑問を持ち続ける学びの姿勢は、建学の精神の一つである「知をみがく」ことの具体的な実践であると考えます。

三つ目は、学んだ知識・技術を大切にし、生涯にわたり成長させることを意識して欲しいということです。

今日、卒業される皆さんが歩まれる日本の社会は、急速に変わりつつあります。世界規模での政治と経済も同様です。情報通信技術の発展も急激であり、それが社会の変化を加速させています。

知識や技術の学び方も、大きく変わった部分があります。授業で出てくる専門用語やレポート作成の際には、インターネットで検索をして情報を収集するのが当たり前になっています。作業の手順なども検索できます。授業資料なども、授業支援システム CEAS に掲載されているものを参照します。

ところで、このような皆さんが学ぶために用いた情報は、例えば五年後に皆さんが仕事をするうえで確認したいと思った時に、同じように検索して見つけることができるでしょうか。恐らくそうではないでしょう。

畿央大学で学んだ専門知識と技術に関して、デジタル化されている資料や学習記録は整理して保存し、大切な知的財産として活用して下さい。学部を卒業される皆さんの学年は、四年前の入学時にタブレット型ノート PC を全員に貸与し、それを活用する取り組みを始めた学年です。希望された卒業生には PC を無償譲渡いたしましたので、資料や学習記録は、ファイルを整理し引き続き活用して下さい。

仕事の中でそれらが活用できるには、単に保存しておくだけでなく、常に新しい情報を追加し、知識・技術の財産を成長させる必要があります。それらを

「成長する個人の知的財産」として大切に育てていただくことを期待いたします。

卒業される皆さんが、社会においても学び続け、人間としてさらに成長されることを心から期待しております。

そして、自分自身の行いを、人生のあり方を振り返る際には、建学の精神「徳をのばす」、「知をみがく」、「美をつくる」に立ち返り、徳をのばせているか、知をみがき続けているか、美をつくれているかと、ご自身の人生のあり方を見直していただければ、建学の精神が皆さんの成長を図る良い物差しになると期待いたします。

これから皆さんが進む道は大きく分かれていきます。しかしその道は将来交差することもあり一緒になることもあるかと思えます。これからも、畿央大学で育んだ人と人とのつながりを大切な絆として歩んでください。

畿央大学が社会から評価されるのは、皆さんの母校なる畿央大学が社会に送り出した皆さんの、社会における活躍、社会への貢献によってです。

皆さんが畿央大学の卒業生として誇りを持って活躍し貢献されることを重ねて期待するとともに、畿央大学は皆さんの活動を生涯にわたり応援いたします。

本日は誠にめでたうございました。

平成三十年三月十五日

畿央大学 学長 冬木正彦